

院外処方箋に記載されている検査値一覧表

略号	検査項目名	正常値	単位	項目の説明
WBC	白血球数	35～70	$\times 10^2/\mu\text{L}$	身体に侵入してきた細菌などの異物を排除したり、殺傷する働きがあります。 感染症などの炎症性疾患、血液疾患で異常値を示します。薬剤による影響も反映します。
Hb	血色素量	11.7～15.8 *注	g/dL	赤血球に含まれる物質で酸素を運搬する働きがあります。 貧血や多血症で異常値を示します。
Plt	血小板数	14～35	$\times 10^4/\mu\text{L}$	出血時に止血をする働きがあります。 薬剤による影響も反映します。
PT-INR	プロトロンビン時間(標準比)			血液の凝固機能の指標となります。
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	8～35	U/L	肝臓や心筋の細胞内に多く含まれる酵素です。 細胞の障害により、血中に逸脱し高値を示します。
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ	5～40	U/L	肝臓の細胞内に多く含まれる酵素です。 細胞の障害により、血中に逸脱し高値を示します。
T-Bil	総ビリルビン	0.2～0.8	mg/dL	胆汁色素の主成分で、肝細胞で代謝され胆汁中に排泄されます。 肝疾患などで異常値を示します。
血清Cr	血清クレアチニン	0.4～1.2 *注	mg/dL	筋の代謝産物で腎臓から排泄されます。 腎機能の指標となります。
eGFR	推算糸球体濾過値		$\text{mL}/\text{分}/1.73\text{m}^2$	血清クレアチニン値から算出された腎機能の指標です。(体表面積1.73 m^2 として算出しています。)
CK	クレアチンキナーゼ	40～200 *注	U/L	骨格筋や心筋に多く含まれる酵素です。 それぞれの障害により、血中に逸脱し高値を示します。
CRP	C反応性蛋白質	0～0.5	mg/dL	C物質(多糖類)に反応する蛋白質です。 炎症や組織障害があると高値を示します。
K	カリウム	3.5～4.8	mEq/L	細胞内に多く含まれるイオンです。 体内の電解質バランスの指標となります。
HbA1c	ヘモグロビンA1c	4.6～6.2	%	ブドウ糖が結合したヘモグロビンです。 過去1～2ヶ月の血糖状態を反映します。

*注)男女共用の基準値としております。

(2017/06/08現在)